

# ■ 第1号議案：第5期活動報告の承認の件

## 学習会

オンライン学習会のみ、目標を上回る計26回（累計91時間）の開講を実現できる見込みです。開講済みの24回の延べ参加者数は計862名、平均参加者数は約35.92名。通年の延べ参加者数は900名を超える見通しであり、過去最多となっております。先生方に「通教生に伝えたいこと」を自由にご講義いただくことにより、在学生か卒業生かを問わず、有意義な「学業」の継続につながる有益な「道標」を提供する方針は、当期も堅持しました。学習会は、いずれも午後（13:55～17:45）であり、提携している学生会横浜支部が同日に「午前の部」を開講したものが25回。曜日別では、土曜日が16回、日曜日が8回、祝日が2回となりました。

## 懇親会

活動方針上、コロナ禍収束（神奈川県・東京都を緊急事態措置区域とする緊急事態宣言が解除されるのみならず、ワクチン・治療薬等の広範な普及により、インフルエンザ等と概ね同程度又はそれ以下のリスクの感染症として扱われる状況）を前提として、当支部主催の懇親会又はランチミーティングの再開を検討する、としていましたが、残念ながら、収束しなかったことから、全て開催を見送りました。また、懇親会の開催が前提となる合宿ゼミの開催についても、開催の検討自体を見送りました。昨年度と同様、一日も早いコロナ禍の収束を願うばかりです。

## その他

オンライン学習会を積極的に開講し、コロナ禍の波が複数回押し寄せる中でも継続して学習の機会を提供できたことは、当期の最大の成果です。個人間送金等を活用した簡易迅速な参加費の徴収スキーム、設立以来の運営実務上のインターネットの活用は、オンライン学習会を中心とする活動を支える足回りとなっています。一方、形式知化し難い非定型的な作業や、比較的定型的な作業であっても過去の経緯から属人化しているものも少なくなく、期中の運転資金として必要不可欠となる役員から当支部への短期貸付金の常態化と相まって、結果的に、特定の役員への負荷の集中は続いている状況であり、「より一層の運営実務の継承・シェア」が課題となっています。対外的には、善隣友好路線を基礎としつつ、当期も是々非々で対応しました。総論として、コロナ禍に伴う様々な制約の多いなか、当期も安定した活動の維持に努めました。